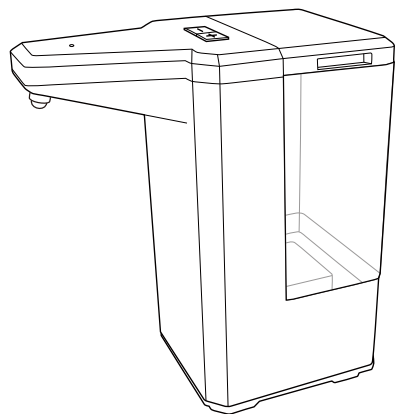
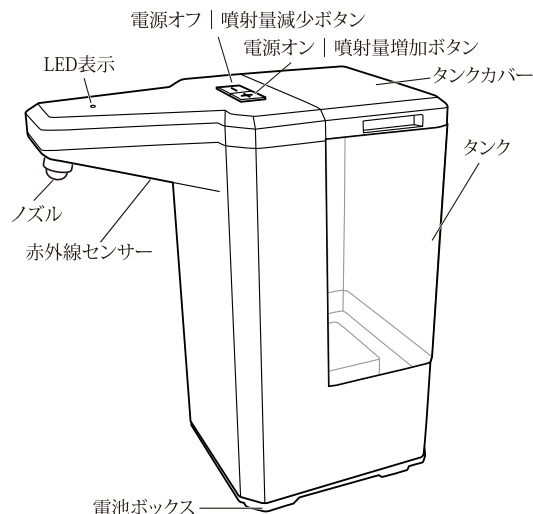


アルコールディスペンサー 自動手指消毒器 500ml 取扱説明書



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また
お読みになった後、本書はいつでも記載内容を確認できるような場所に大
切に保管してください。

各部名称



※付属のトレイは本体の下に置き、受け皿としてご使用ください。

絵表示の解釈

○以下のようなことをすると、機器の故障・家屋や家財などの損害・人のケ
ガの原因になる恐れがありますので行なわないでください。
△安全にお使いいただくために、以下のように従って行ってください。
※注意や提示を意味します。

ご使用の液体について

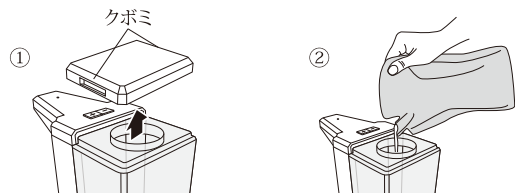
○本品は水状態の消毒液専用のオートディスペンサーです。適用液体以
外のものを入れると故障や動作不良の原因になります。
※消毒液は付属していません。市販品を購入の上ご使用ください。

適用液体: アルコール含有量 $\leq 75\%$ のアルコール消毒液、手指専用の消
毒液など。いずれにしても必ず水状態の消毒液を使用してください。

不適用液体: 次亜塩素酸水; アルコールジェル; 水不要のハンドジェル;
水不要のハンドソープ; ハンドソープ; 漂白剤; 香料; 界面活性剤; 粘性
のある液体など(シャンプー類など); 粒、パール、異物のある液体など(液
体クレンザーなど)。

※アルコール含有の液体を使用する場合、発揮性があるので、しばらくし
て再び使用すると噴射量が少なくなりますが、正常現象です。3～4回
連続動作させてから正常の噴射量に戻りますので、ご安心ください。

液の入れ方

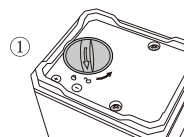


1. 電源オフの状態であることを確認してください。
2. タンクカバーの左右側面にクボミがあり、図①のように、それを上に持ち
上げて、タンクカバーを開けます。
3. 図②のように、薬液をタンクに注ぎ入れてください。
4. キャップを注ぎ口にはめてタンクカバーを閉めてください。

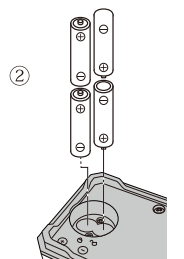
液の入れ方についてのご注意

- △ タンク内の液体が少なくなると、噴射に影響しますので、すぐ補充してく
ださい。
- △ 別の銘柄の液体に詰め替える時、タンク内をよく洗い、乾燥させてからお
使いください。
- △ 別の銘柄の液体に詰め替える時、異物の混入に注意してください。
- △ 異なる液体を混用しないでください。
- △ タンク容量は約500mlなので、それ以上は入れないでください。
- 長時間使用しない場合はタンク内に液体を放置しないでください。放置
するとノズルから液が垂れ、また内部で固まる場合があります。

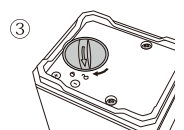
電池の入れ方



1. まずタンク内に薬液が入っていないことを確認して
ください。
2. 図①のように、 $\ominus \Rightarrow \ominus$ に回して、つまみを取り外
します。



3. 図②のように、電池ボックスに表示された田極と田
極の表示を確認して入れてください。
※向きの表示は、装填の完了後、一番外に出ている
電池の向きを意味しています。



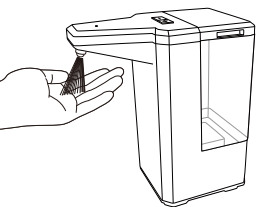
4. 図③のように、 $\ominus \Rightarrow \ominus$ に回してつまみを閉じます。

電池についてのご注意

- ※一般使用上の電池交換のタイミング:
LEDが赤色に点滅した時;
本品の動作が遅くなった時;
センサーの反応が鈍くなった時。
- △ 同じブランドで、すべて新しい単三型アルカリ乾電池を使用してください。
新旧電池や異なる種類(アルカリ・マンガンなど)の電池の混用、または充
電式電池の使用はやめてください。
- ※電池の向きを注意して入れてください。電池ボックスのカバーがしっかり
閉じたか確認してください。
- ※電池に表示された注意事項もあわせてお読みください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 電池が液漏れした時は素手で液に触らないでください。液が身体や衣服
についた時は、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状
がある時には、ただちに医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに大量のきれいな水で洗い流し、
ただちに医師に相談してください。
- ショートさせたり、分解、加熱しないでください。また火中に入れないでく
ださい。
- 乾電池は充電しないでください。
- 電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管し
ないでください。
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください。
- 電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- ※長時間使用しない場合、電池を本体から取り外してください。
- ※使用済みの乾電池は、環境保全のため、地方自治体の条例または規則に
従って処理してください。

使用方法

- ①まず振動のない平らな場所に設置してください。
- ②逆時計回りに電池ボックスのカバーを取り外して、乾電池を入れます。LED表示が一回緑色に点灯して、自動的にスタンバイ状態となります。
- ③タンクカバーを開けて、消毒液を入れて、カバーを閉めます。
※取り付け中にセンサーが感知しないように注意してください。検知すると液が出る場合があります。
- ④噴射量は ㊤ ㊤ で2段階調整ができます。ボタンを押すと、LED表示が緑色に点灯します。
電源オン：㊤ ボタンを押すとLED表示が緑色に点灯
電源オフ：㊤ ボタンを3秒長押しすると、LED表示が赤色に点灯
※噴射量調整したあと、電源オフにしても直前の設定が記憶されます。
※通常モードでは電源オフする必要はありません。作動しない時には自動的にスタンバイ状態にはなります。



- ⑤ノズルの下に手をかざすとセンサーが反応して消毒液が噴射されます。噴射している間に、LED表示が緑色に点灯します。
※手をかざして約1秒ほど静止してください。手の動きが早過ぎるとセンサーが反応できず、噴射しないか噴射量が減る場合があります。
※赤外線センサーの感知距離は約2~5cm。それ以上離すとセンサーは反応しません。
※はじめてご使用になるとき、チューブが液体を吸い込めるに2~3回ぐらい動作させてから噴霧してきますが、正常現象なのでご安心ください。

お手入れ方法

- ㊤ 本品の汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤をふくませて固く絞った柔らかい布で拭いてください。
 - ㊤ ボタンやセンサーのホコリや汚れは、必ず乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
 - ㊤ ノズルのホコリや汚れは、軽く湿らせた綿棒などの柔らかいもので、そっと拭き取ってください。
 - ㊤ ベンジン、シンナー、漂白剤、金属製・ナイロン製のたわしや磨き粉などを使用しないでください。変色や変形、故障の原因となります。
 - ㊤ 運転中にお手入れはしないでください。
 - ㊤ 本品は完全防水ではありません。タンク部分以外は水に濡れないように注意してください。
- ※ 本機を長くご使用いただくために、ご使用1~2ヶ月ごとに、以下のようなやり方に従って定期的にお手入れをおすすめします。
- 1.電源オフして、タンクに残っている消毒液を捨て、ぬるま湯を1/3の程度入れます。
 - 2.電源オンして、センサーに手をかざして20回程度ぬるま湯を噴射させます。
 - 3.電源オフして、タンク内のぬるま湯を捨て、清潔な布などで水気を拭き取ります。
 - 4.直射日光や湿気を避けてよく乾燥させてください。

故障かな？と思ったら

- 電源が入らない
- 電池が入っていない
⇒電池を入れてください
 - 電池の向きが間違っている
⇒向きに注意して入れ直してください
 - 電池が消耗している
⇒新しい電池を入れてください

安全上のご注意

- ㊤ 濡れた手で操作しないでください。
- ㊤ (アルコール含有の液体を使用した場合)消毒直後の手を火気に近づけないでください。
- ㊤ 溜まった消毒液(アルコール含有の液体の場合)を捨てる時、火気のある場所や温度の高くなる場所に捨てないでください。
- ㊤ 燃えやすい液体、腐蝕性化学品、酸、アルカリなどをタンク内に入れないでください。
- ㊤ 修理技術者以外の人は、分解・改造・修理を行わないでください。
- ㊤ 火災・感電・故障・誤作動などの原因になりますので、以下のような場所に本品を設置・保管しないでください(目安として30cm以内)。
 - ・直射日光や蛍光灯などの照射物の近く；
 - ・電磁界の強い環境；
 - ・高温や高温、ホコリの多いところ；
 - ・酸、アルカリ、油、ガスを使う場所が漏れる恐れのある場所；
 - ・暖房設備、炎天下の車中、火元といった温度の高くなるものの近く；
 - ・乳幼児、自分で操作できない方、またペットの届くところ；
 - ・振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台などの上、傾いたところ等不安定の場所。
- ㊤ アルコール含有の消毒液の補充は通気性の良い場所、常時換気が行える場所で行ってください。
- ㊤ 消毒液の取扱は消毒液の説明書に従い、守ってください。

液が出にくい・出ない・噴射効果が悪い

- 手の位置が遠くてセンサーが感知していない
⇒センサーの近くに手をかざしてください
- 電池が消耗している
⇒新しい電池を入れてください
- ノズルが詰まっている
⇒ノズルの詰まりを取り除いてください
- 粘性のある液体を使ってノズルが詰まった
⇒本書のお手入れ方法に従ってお手入れしてください。また、適用液体以外を使用しないでください
- センサーの下に障害物がある
⇒障害物を取り除いてください
- 液体が乾燥して固まった
⇒内部のお手入れをしてください
- タンクの消毒液が少ない(チューブの底を超えていない)
⇒チューブの底を超えるぐらいの液体を補充してください
- 初のご使用の場合
⇒ノズルを軽く弾いて、空気を出してから、数回動作させてください
- 長時間使用していない場合
⇒本書のお手入れ方法に従ってお手入れしてください
- 黒色やステンレスには反応しない
⇒黒色は光を吸収し、反射しないため、センサーは反応しないことがあります；ステンレスや鏡面のようなものは光を反射するため、センサーは反応しないことがあります。かざすものを変えてください
- ガラスやシンクなど鏡面のようなもの、白やシルバーのものの近くに設置した
⇒反射の影響でセンサーの反応が悪くなったり、さらに反応できなくなったりする場合があります。頻繁に発生する場合、本体の下に布などを敷くか、設置場所を変えてください

使用上のご注意

- ㊤ ぶつつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないでください。
- ㊤ 手や異物でノズルを詰めないでください。
- ㊤ センサー部に液がかからないようにしてください。センサーの反応が悪くなるか使用できなくなる恐れがあります。
- ㊤ 異常発生時に、直ちに使用を停止し、電池を抜いてください。
- ㊤ 広範囲に液体が飛散する場合があります。アルコールが含まれている液体を使用する場合、その影響を受けるものを近くに設置しないでください。
- ㊤ 水没したり、流水の下、湿度の高い場所で使用または長時間放置しないでください。もし水に落ちてしまったら、本体を使用しないでください。
- ㊤ タンク内に液体が入っているときは、本体を傾けたり逆さまにしたりしないでください。
- ㊤ もし本品に破損が見つかったら、使用しないでください。
- ㊤ 本品を慎重に取り扱ってください。振動を与えたり、落下させたりすると、機器の故障の原因になります。
- ㊤ 動作環境温度(5℃~45℃)の中で使用してください。低温の場合、機器の作動に悪影響を与える可能性があります。
- ㊤ 本品は製造・検査の工程上、内部に水滴や水気などが残る場合があります。電池を入れた際など、センサーが検知すると内部に残った水が出てくる場合がありますのでご注意ください。
- ㊤ 長時間使用しない時、消毒液を詰め替える時、本品を移動する際、またお手入れの際など、電源を切ってください。
- ㊤ 本品や電池を廃棄する時には、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- ㊤ 電池ボックスカバーや本体の開閉時に指をはさんだりしない様に注意してください。けがの原因になります。

勝手に作動する

- 人や移動する家電、ペットなどがセンサーのすぐ近くで動作している
⇒センサーが感知して作動する可能性があります。本品を適切な場所に移動するか、センサー感知の源(人の場合)は、そのすぐ近くで行動しないよう注意してください
- センサー部に汚れが付着している
⇒汚れを落としてください

製品仕様

電源：単三型アルカリ乾電池 4本使用(別売)
電池寿命：約6ヶ月(1日に15回の噴射の場合)
アルカリ乾電池を使用してください
電池の種類及び使用環境によって異なります。

主な材質：ABS+PC
タンク容量：約500ml
重量：約480g(電池や液体を除く)
製品サイズ：78×150×192mm
防水規格：IPX4

製品の仕様及び外観などは改善・改良のため、予告なく変更することがあります。

商品についてのお問合せ先 ……………

(株)友屋

TEL.075-256-1585(土・日・祝を除く9:00~17:00)
〒604-0831 京都市中京区二条通高倉入松屋町54

(株)マルエムPOP

TEL.03-5835-3726(土・日・祝を除く9:00~17:00)
〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16
ヒューリック浅草橋ビル9F